

宇都宮市立小中学校の適正規模化に関する懇談会(第5回)会議録

日 時 平成 13 年 4 月 25 日(水) 午後 1 時 30 分～午後 3 時 20 分

場 所 市役所 13 階 教育委員室

出席者 津布楽会長, 浅川副会長, 小林委員, 藤井委員, 新川委員, 松本委員, 須藤委員,
菊池委員, 関口委員, 川村委員, 坂入委員, 手塚委員, 塚原委員, 綱河委員,
熊本委員, 高梨教育長, 阿部教育次長, 渡辺総務担当主幹,
黒崎教育委員会総務課長, 飯塚学校管理課長, 山市学校教育課長 外事務局

公開・非公開の別 公開

傍聴者 なし

会議次第

1 開会

2 会長あいさつ

3 議題

(1) 報告事項

第 4 回懇談会会議録の確認について
適正規模の視点と適正規模化の指針について
その他

(2) 協議事項

提言書素案について

(3) 次回会議の日程について

(4) その他

4 閉会

会議の概要

1 報告事項

各項目について事務局が説明し, 了承を得た。

2 協議事項

事務局より説明し, その後, 意見交換を行った。

3 次回会議の日程について

第 6 回懇談会の開催日時について協議し, 5 月 30 日(水)午後 1 時 30 分から開催することとした。

発言の要旨

(報告事項 適正規模の視点と適正規模化の指針について)

委 員・適正規模化の指針の(1)に「子どもにより良い教育指導ができること」とあるが, 読み方によっては, 誤解を招く表現であるので, 修正した方がよいのではないか。

委 員・「子どもに」を「子どもにとって」としてはどうか。

委員・「子どもに対してより良い教育」としてはどうか。
会長・「子どもに対してより良い教育指導ができること」に修正することでいかがでしょうか。
(了承)

(報告事項 その他)

委員・弾力的運用の保護者等への周知は、どの程度行われているのか。教育的配慮の項目で、例えば、小学校において、いじめをうけ、その問題を抱えたまま、中学校に進学することに不安がある場合に、弾力的運用を知らないと私立中学校への進学を考える保護者等もいると思う。

事務局・弾力的運用については、各学校に通知し、教員から周知を図っている。

委員・問題を抱えた子どもの保護者が担任の先生に相談したときや進路相談のときに、教育的配慮から学校を変更できるということを保護者等に周知してもらいたい。

事務局・いじめ等のある場合は、教育研究所と学校で連絡をとりながら対応しているが、弾力的運用の周知については、今後、さらに徹底を図るよう努力していきたい。

会長・保護者、PTA の側からすると、せっかく制度があるのだから、事前に制度があるということをもっと周知して欲しいということですね。

・他に何かありますか。ないようですので、報告事項は以上といたします。

(協議事項 提言書素案について)

委員・2ページの(3)学級数からの学校規模の推移で、「(内複式学級校1校)」となっているが、「(うち複式学級校1校)」ではないか。また、7ページの「付記事項」は、「 」として項目を設けてはどうか。

会長・懇談会では、学校規模の適正化について教育的な観点から検討し、適正規模の視点と適正規模に向けての基本的考え方の双方にウェイトをおいて議論してきた。遠距離通学地区や通学区域制度の弾力的運用については、前回の会議で自由にご意見をいただいたが、深い議論はしていないので、今後設置される審議会や地域別懇談会で参考になればということでこれを加えることとし、付記事項とした。
(了承)

委員・適正規模を確保する方法の検討、例えば統廃合とかは、次の段階で出てくるのか。

会長・第2回に懇談会の役割を確認している。懇談会の役割は、適正規模を考える視点と適正規模化に向けての配慮すべき事項を検討することである。通学区域の再編、整備は次の段階である。懇談会は、課題解決の手引きを指針として示し、通学区域の再編、整備の具体的な検討は審議会で行う。

委員・適正規模や学区再編でも基本は押さえておく必要がある。提言はこれでよいが、今後、決意を持って、適正規模化や学区再編を実行していかなければならないと考えるが、どうか。

事務局・懇談会を設置したのは、学校間の規模の格差が拡大してきているためである。格差は子どもの教育上解消しなければならないと考えている。学区再編については、難しい面も予想されるが、腰をすえて取り組んでいかなければならないと考えている。

委員・教育長と職員が力を合わせてこの問題に取り組んで欲しい。

会長・他に何かありますか。

委員・2ページの(1)児童生徒数の推移で、中学校生徒数のピーク時との割合だが、「64%」でなく「65%」ではないか。

事務局・「65%」に訂正する。

委員・同じページの(1)児童生徒数の推移と(2)学級数の推移で、%の前に「約」がついているが、必要ないのではないか。

事務局・流れとしては、「約」はない方がいいかもしれない。

会長・「約」の取扱はいかがいたしますか。「約」は削るということによろしいか。(了承)

委員・7ページの「付記事項」で、学校選択制は、研究はするが実施しないという立場か。

会長・懇談会は、視点と指針について検討する。学校選択制は、前回論議したが、今後、慎重にいろいろなことを勘案しながら、研究していくというのが基本姿勢である。

委員・研究するが急ぐ必要はないというのが基本姿勢ですね。

・市の中心部の人達から、選択制を早く導入して欲しいという意見が出たときに、懇談会の意見として明記してあった方がいいと思ったのだが。

委員・これでいいと思う。

委員・1ページと7ページに「較差」という言葉が使われているが、「格差」ではないか。

事務局・「較差」は、比較して差があるということで、意識的に使ったが、一般的には使わない表現と思うので修正する。

委員・適正規模と適正規模化がごちゃまぜに使われている気がする。1ページのはじめにの「適正規模に向けて配慮すべき～」は「適正規模化に向けて～」ではないか。6ページの「適正規模に向けての基本的考え方」は「適正規模化に向けての～」ではないか。

事務局・懇談会の設置要領の所掌事項に「適正規模に向けての基本的な考え方に関すること」となっており、これに合わせて、の表題としたところであるが、ご指摘のように統一のとれてないところもあるので、整理する。

事務局・全体を精査して、訂正が必要な箇所は訂正する。

会長・視点のところは「適正規模」、「適正規模に向けて」のところは、「適正規模化」でしようか。事務局で整理して下さい。

委員・4ページの1 適正規模の視点で、「学校教育の効果をより高めるため」とあるが、はたしてこういう観点で視点を特定したかどうか。また、効果を高めるとい言葉そのものが持つニュアンスが微妙なため、むしろない方がいいのではないか。あるいは、

「おわりに」の「子どもにとってより良い教育環境を創出するため」の方がよいのではないか。

委員・最初のところに何か言葉があった方がよいと思う。参考資料6は、適正規模の視点からの検討の資料で、中身があり説得力のある資料である。「教育効果を～する」という言葉を付けた方がよい。

委員・この言葉は、効率を連想する。学校規模に効率を求めるといのは、議論していないので、避けるべきである。複式学級や小規模校の問題に触れたときに、学校教育とは何かという本質にかかわってしまうため、避けた方がよい。

会長・基本的に教育的観点に立って検討してきた。さらに、子どもの視点をあてて、一人一人の子どもに生きる力を育むことを考えた。効果を高めることが効率主義にとられることは、本意ではない。

委員・「21世紀を担う子どもたちが心豊かで健やかに成長できるよう願う」という言葉から一部として入れた方がよい。

委員・「心豊かで健やかに成長できるよう」をいれてはどうか。

会長・第三者から見たときに正しく受け取ってもらえないことがある。「子どもたちに学校教育のより良い環境を整えるため」という表現でよろしいか。

委員・文章の流れとしては、「本市の実情に即した適性規模について検討を進めるにあたり、まず、～の観点から適正規模を考える上での視点を設定した」の方がよい。

会長・次回までに文章を整理することとします。

委員・3ページの(1)学校規模による問題点で、私が以前、大規模校にいた経験から一番感じたのは、例えば、朝会の時に子どもたちの移動に時間がかかり、朝会が終わったあとの1時間目が時間どおり始まらないという現状があったり、運動会など学校全体でやるときに、希望にそえないことがあるということである。ここに記載の項目は、アンケート結果からのものであるので、「各学校へのアンケートの結果」のところを「各学校へのアンケートの結果等から」として、問題点の一つに加えてはどうか。

会長・行動が遅いところがある。大規模校の中に何か上手い表現ができれば、そういったことも加えたらどうか。集合等に時間がかかるとか。他に何かありますか。

委員・学校規模による問題点で、小学校の小規模校と中学校の小規模校とで、校務分掌に関する問題点の表現を変えなくてもよいのでは。

・中学校の大規模校の「教員と生徒の関係が疎遠になりやすく」とあるが、疎遠という言葉は生徒と先生との関係では使わない方がよいのでは。

会長・何かいい表現はないか。「緊密な関係がつくりにくく」とか。

委員・「教員と生徒、生徒同士」を入れてはどうか。

会長・「教員と生徒、生徒同士で緊密な関係がつくりにくく」という表現でいかがでしょうか。
(了承)

・他に何かありますか。他にないようでしたら、今日のご意見を整理して、次回に教

育長に提言書を提出したいと思います。

- ・提言書は、審議会や地域別懇談会で具体的な方策を進めるときに、一人歩きをすることのないような表現としたい。
- ・来月の半ばぐらいまでに気がついたことを事務局の方に言っていただいて、それを踏まえて、提言書のとりまとめは会長、副会長、事務局にお任せいただけるということよろしいか。(了承)